

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
4月	簿記とは・授業のねらい・授業に必要なもの・評価の観点・検定試験の種類・文字の記入の仕方・数字の記入の仕方・線の種類と引き方・赤字で記入する文字などについて理解させる。	簿記のガイダンス	【主体的に学習に取り組む態度】ガイダンスに真剣に取り組む、メモを取ることができる。			○	1
	簿記の目的、簿記のしくみを理解させる。 資産・負債・純資産の概念や相互の関係を理解させる。 貸借対照表の形式と作成方法、その意味を理解させ、作表に習熟させる。財産法による純損益計算のしくみ、収益と費用の基本概念を理解させる。収益・費用と財産の増減との相互関係を学習させ、損益計算書等式を理解させる。損益計算書の形式と作成方法、その意味を理解させ、作表に習熟させる。損益法による純損益計算のしくみを理解させる。	簿記の目的としくみ 資産・負債・純資産 収益・費用	【知識・技能】簿記の定義、目的、種類、歴史、前提条件について、その知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】資産・負債・純資産の増減と純損益の計算について思考・判断し、それを表 【知識・技能】資本の増加と減少の原因、収益と費用の意味を理解している。 【思考・判断・表現】損益法による純損益の計算と損益計算書について思考・判断し、それを表現することができる。	○	○		4
	仕訳の意味と役割・必要性を理解させ、その方法を習得させる。 勘定口座への転記について正しく理解させる。	仕訳と勘定への記入	【知識・技能】簿記上の取引概念、勘定や勘定講座、取引の分解および勘定記入のルールについて、知識・技術を身に付けている。	○			1
5月	仕訳帳の役割について理解させ、その記入方法を習得させる。 総勘定元帳の役割について理解させ、その記入方法を習得させる。	仕訳帳と総勘定元帳	【思考・判断・表現】取引の分解および勘定記入のルールについて思考・判断し、それを表現することができる。 【思考・判断・表現】取引の分解および勘定記入のルールについて思考・判断し、それを表現することができる。	○			4
	試算表の意味と役割を理解させる。 試算表の種類とその作成方法を理解させ、習得させる。	試算表	【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。		○	○	4
	中間審査対策 中間審査	中間審査	【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。	○	○		3
	精算表の意味を明らかにして、その作成に習熟させる。 精算表から複式簿記のしくみを理解させる。	精算表	【知識・技能】精算表の意味および仕組みを理解し、作成する知識・技術を身に付けている。	○			2
6月	精算表の意味を明らかにして、その作成に習熟させる。 精算表から複式簿記のしくみを理解させる。	精算表	【知識・技能】精算表の意味および仕組みを理解し、作成する知識・技術を身に付けている。		○	○	2
	決算の意味・必要性・重要性について理解させる。 繰越試算表の役割を理解させる。	決算	【知識・技能】決算の意味、総勘定元帳の締め切り、決算の手続きについてその知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】	○			4
	決算の意味・必要性・重要性について理解させる。 繰越試算表の役割を理解させる。	決算	【知識・技能】決算の意味、総勘定元帳の締め切り、決算の手続きについてその知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】	○			4
	簿記上、現金として取り扱われるものにはどんなものがあるかを理解させる。現金に関する取引の内容について理解させ、その記帳方法を習得させる。現金出納帳の役割を理解させ、その記入方法を習得させる。	現金・預金の記帳	【知識・技能】現金の入金と出金、および小口現金の記帳法と、当座預金など預貯金の預け入れと引き出しおよび当座借り越しの記帳方法について理解している。 【思考・判断・表現】現金の入金と出金、および小口現金の記帳法と、当座預金など預貯金の預け入れと引き出しおよび当座借り越しの記帳ができる。	○			4
7月	現金過不足の意味を理解させ、その記帳方法を習得させる。当座預金の役割、小切手のしくみ、当座預金に関する取引の内容について理解させ、その記帳方法を習得させる。当座借越・当座の意味を理解させ、その記帳方法を習得させる。	現金・預金の記帳	【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	2
	当座預金出納帳の役割を理解させ、その記帳方法を習得させる。その他の預貯金の種類とその記帳方法を習得させる。小口現金の意味、定額資金前渡法（インプレストシステム）のしくみを理解させ、小口現金出納帳の記入方法を習得させる。	現金・預金の記帳	【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。	○	○		2
	期末審査対策 期末審査	期末審査	【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。	○	○		2
	仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割を理解させ、その記入方法を習得させる。	仕入れ・売り上げ 仕入帳・売上帳	【知識・技能】仕入帳・売上帳・商品有高帳の意味と記入内容について理解している。 【思考・判断・表現】仕入帳、売上帳、商品有高帳の記帳が正確にできる。 【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○			4
仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割を理解させ、その記入方法を習得させる。	仕入れ・売り上げ 仕入帳・売上帳	【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。		○	○	4	

9月	商品勘定の分割の意義を理解させ、その記帳方法を習得させる。商品の仕入れにともなう仕入諸掛や販売時の発送費の取り扱い、値引きや返品処理方法を習得させる。	商品売上の記帳	【思考・判断・表現】3分法による商品の仕入れと売り上げの記帳、返品や仕入諸掛、発送費などの記帳が正確にできる。				○		2
	掛取引における総勘定元帳と補助元帳の関係を理解させる。売掛金元帳・買掛金元帳などの補助元帳の記入方法を習得させる。	掛取引の記帳	【知識・技能】掛取引の意味を理解している。 【思考・判断・表現】掛取引の処理と掛元帳の記帳ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】				○	○	4
	商品代金の支払いに用いられる約束手形と為替手形の内容と、その記帳方法を理解させる。債権・債務の関係や決済・裏書・割引の内容と、その記帳方法を理解させる。	手形取引の記帳	【知識・技能】手形の種類と意味、受取人と振出人の関係性を理解している。 【思考・判断・表現】約束手形において、受取人と振出人の記帳、手形記入帳の記帳ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。				○		4
	手形記入帳の形式とその記入方法を習得させる。	手形取引の記帳					○	○	4
	売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の債権・債務の諸勘定の特徴と、その記帳処理の方法を理解させる。	その他の債権・債務の記帳	【知識・技能】その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容を理解し、基礎的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】その他の債権・債務に関する思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。				○		2
10月	売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の債権・債務の諸勘定の特徴と、その記帳処理の方法を理解させる。	その他の債権・債務の記帳					○	○	2
	固定資産の意味と種類を理解させ、取得したときや売却したときの記帳方法について習得させる。	固定資産の記帳	【知識・技能】固定資産の取引に関する基本的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】固定資産の取引に関する思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。				○	○	4
	個人企業における資本金勘定の性質と、資本金勘定の増加・減少の場合を理解させる。個人企業における資本金勘定の記帳方法を理解させる。引出金勘定を設ける意味と記帳方法を理解させる。	個人企業の純資産の記帳	【知識・技能】個人企業の資本の取引に関する基本的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】個人企業の資本の取引に関する思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。				○	○	4
	中間審査対策 中間審査	中間審査	【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。				○	○	3
	営業費の内容と種類について理解させる。営業費の記帳方法と役割について理解させる。個人企業に課される税金の種類と、どのようなことに課される税金であるのかを理解させる。税法上、必要経費または損金として認められる税金と、認められない税金とを区別する税金の種類と、どのようなことに課される税金であるのかを理解させる。税法上、必要経費または損金として認められる税金と、認められない税金とを区別する税金の種類と、どのようなことに課される税金であるのかを理解させる。税法上、必要経費または損金として認められる税金と、認められない税金とを区別する税金の種類と、どのようなことに課される税金であるのかを理解させる。税法上、必要経費または損金として認められる税金と、認められない税金とを区別する税金の種類と、どのようなことに課される税金であるのかを理解させる。	販売費及び一般管理費の記帳 個人企業の税金の記帳	【知識・技能】販売費及び一般管理費と税金の取引に関する基本的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】販売費及び一般管理費と税金の取引に関する思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。				○	○	2
	営業費の内容と種類について理解させる。営業費の記帳方法と営業に内職長の役割について理解させる。個人企業に課される税金の種類と、どのようなことに課される税金であるのかを理解させる。税法上、必要経費または損金として認められる税金と、認められない税金とを区別する税金の種類と、どのようなことに課される税金であるのかを理解させる。税法上、必要経費または損金として認められる税金と、認められない税金とを区別する税金の種類と、どのようなことに課される税金であるのかを理解させる。	販売費及び一般管理費の記帳 個人企業の税金の記帳					○	○	2
	決算整理の意味を把握させ、決算整理事項について理解させる。棚卸表の役割と内容を理解させる。	決算整理(その1)	【知識・技能】決算手続きの意味を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】財務諸表を活用して企業の状況について判断し、決算結果を財務諸表に明瞭に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。				○	○	4
11月	決算整理の意味を把握させ、決算整理事項について理解させる。決算整理事項のうち、現金・商品・貸し倒れの見積もり、減価償却、引出金の整理について、基本的な処理方法を習得させる。	決算整理(その1)					○	○	4
	8桁精算表の意味を理解させ、その作成方法を習得させる。帳簿決算の方法を理解させる。損益計算書と貸借対照表の意味を理解させる。	8桁精算表	【知識・技能】8桁精算表の意味を理解し、作成方法についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】8桁精算表と6桁精算表の違いについて思考し、適切に作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。				○		4
	8桁精算表の意味を理解させ、その作成方法を習得させる。帳簿決算の方法を理解させ、その習熟に努めさせる。損益計算書と貸借対照表の意味を理解させ、その作成方法を習得させる。	8桁精算表					○	○	2
12月	期末審査対策 期末審査	期末審査	【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。						2
	帳簿決算の意味とその必要性を理解させ、総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・損益計算書・貸借対照表の作成に習熟させる。	帳簿決算	【知識・技能】帳簿決算の意味を理解し、総勘定元帳の締め切りと繰越試算表・損益計算書・貸借対照表の基礎的・基本的な作成方法が身に付いている。 【思考・判断・表現】決算整理を含んだ帳簿決算について一定の方法に従って会計処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】会計帳簿や損益計算書と貸借対照表からビジネスの諸活動を把握しようとする。				○	○	4
	帳簿決算の意味とその必要性を理解させ、総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・損益計算書・貸借対照表の作成に習熟させる。	帳簿決算					○	○	4
	会計帳簿の役割と種類を体系づけて理解させ、帳簿組織を業務の分担と関連づけて考えさせる。	会計帳簿と帳簿組織	【思考・判断・表現】ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿を用いるかの判断ができ、適切に表現できる。					○	4

1月	伝票の種類と記帳方法を習得させる。3伝票制による起票を習得させる。	3伝票制による記帳	【知識・技能】仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と作成方法を理解して。 【思考・判断・表現】入金・出金・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○			2	
	伝票の種類と記帳方法を習得させる。3伝票制による起票や集計方法のルールを習得させる。	3伝票制による記帳		○		○	4	
	会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解させ、伝票・証ひょうから会計ソフトウェアに取引を入力する方法に習熟させる。	会計ソフトウェアの活用	【思考・判断・表現】会計ソフトウェアを活用する利点を理解し、記帳の合理化を達成する方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】プリント、ワーク等が適切に記入されている。		○	○		4
	決算整理その1を確認し、その意味と記帳方法について十分に復習する。	決算整理(その2)	【知識・技能】進んだ決算整理の内容および財務諸表の作成について理解して。 【思考・判断・表現】進んだ決算整理の内容と記帳方法、および財務諸表の作成方法を身に付けている。		○			2
2月	決算整理その1を確認し、その意味と記帳方法について十分に復習する。	決算整理(その2)	【主体的に学習に取り組む態度】自ら学び帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。プリント、ワーク等が適切に記入されている。		○		2	
	決算整理として、間接法による減価償却の記帳と定率法による計算。および有価証券の評価を理解させ、正しく記帳する能力を養う。	決算整理(その2)			○		4	
	決算整理として、間接法による減価償却の記帳と定率法による計算。および有価証券の評価を理解させ、正しく記帳する能力を養う。	決算整理(その2)			○		4	
	費用・収益の繰り延べ、見越しの処理法を理解させるとともに、期間損益計算の基本を理解させる。	決算整理(その2)			○		2	
	費用・収益の繰り延べ、見越しの処理法を理解させるとともに、期間損益計算の基本を理解させる。	決算整理(その2)			○		2	
3月	学年末考査対策 学年末考査	学年末考査	【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学んだ簿記の知識・技術を今後の社会的な課題解決に役立てようとしている。	○	○		2	
	1年間の総復習	総復習				○	1	